

季節の生き物

～冬越しをするチョウ～

「昆虫のすみかや体のつくり」などを学ぶ小学3年生のセンター授業が、10月12日に終わりました。虫が苦手な子や草むらに入ることがない子は、はじめは虫さがしにとっても消極的です。でも、虫の好きな友達や先生方が楽しそうにバッタなどを捕まえるのを見て、ちょっと触れるようになったり自分でも捕まえられるようになったりと、ほんの半日の間に虫を見る目が変わったように思えます。昆虫たちも人間も同じ生きものであることを実感し、昆虫たちの「家」である自然を見る目がやさしくなればいいなあと思います。

さて11月に入ると花や樹液に訪れていたチョウたちはほとんど姿を見せなくなります。どこに行ってしまったのでしょうか。

アゲハチョウやモンシロチョウがサナギで冬を過ごすのはよく知られていますが、幼虫や成虫のまま冬越しをするチョウもいるのを知っていますか？

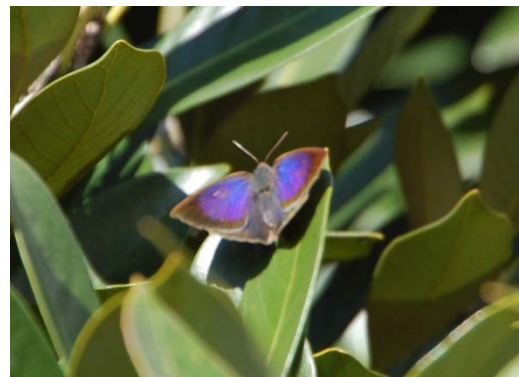
ベニシジミやモンキチョウは幼虫の姿で、キチョウやキタテハ、ムラサキシジミなどは成虫で冬越しします。幼虫は葉の裏でちょっとずつ葉っぱを食べながら、成虫は集団で日の当たらない葉の裏などにじっとして暖かい春を待ちます。

チョウの羽は触るとすぐにぼろぼろになってしまうような薄い羽なのに、よく寒い冬を過ごすことができますね。とても不思議です。

こんな不思議がたくさんあった昆虫たち。先日ノーベル賞をとった大隅良典先生も子どものころは昆虫採集をしていたそうです。これからまた、昆虫採集のブームがくるのかな？ (R)



ベニシジミの幼虫



ひなたぼっこをするムラサキシジミ

講座案内 (12月)

12月10日(土) ※雨天実施 **「木の実を使ったリースづくり」**

クズのつるを土台に、マツボックリなどの木の実をつけて素敵なリースを作りましょう。ちょっと難しいので、親子で協力して作ってくださいね。

○対象：小学生以上の親子 12組24名(1組2名) ※1家族1個。
スペースの都合上、1組2名(付添者は入れません)。

○時間：10:00~12:00

○参加費：1,500円(材料費・保険代)

○持ち物：軍手、剪定ばさみ、持ち帰り用袋(リースの仕上がりサイズは直径40cm程度)



注意事項

1 申し込み方法・・・往復はがき。往信はがきに①講座名②参加する親子の氏名(ふりがな)、学年(子供のみ)③住所、電話番号。返信用はがきに住所、氏名を記入して、学習センターまでお送りください。※応募者多数は抽選。定員割れの場合、ホームページ上に掲載(先着順で受付) ※平成28年11月16日(水)必着

[宛先]〒335-0031 戸田市内谷 2887 番地 彩湖自然学習センター「木の実を使ったリースづくり」係

2 材料確保の都合上、キャンセルは12/4(日)までにご連絡ください。5日以降に欠席の連絡をされた場合は、講座終了後、参加費(1,500円)と引き換えで材料一式を引き取っていただきます。その点をご了承の上、お申し込みください。

12月11日(日) ※雨天実施 **「彩湖周辺の野鳥観察：真冬」**

冬の野鳥観察シリーズ第2弾、真冬編です。そろそろ冬鳥も出そろって観察に最適な季節になりました。双眼鏡や望遠鏡を使って、彩湖の野鳥を観察しに来ませんか。初心者もベテランも大歓迎です。

○対象：誰でも(小学2年生以下は保護者同伴)定員20名

○時間：10:00~12:00 ○参加費：1000円(保険代を含む)

○持ち物：双眼鏡(貸出可) ※マイクロバスで彩湖周辺を移動します。



12月18日(日) ※雨天実施 **「和風をつくろう」**

和紙に絵を描き、竹ひごを使って和風を作ります。空高く舞い上がる楽しさは格別ですよ。

○対象：小学生以上の親子 30名

○時間：10:00~12:00

○参加費：400円(材料費・保険代)

○持ち物：凧を持ち帰る袋(大きめのビニール等)



☆申込方法：彩湖自然学習センターへ電話にてお申込みください。各講座は定員になり次第、受付を終了させていただきます。なお、申込みは講座の1か月前の10時から受け付けています。

※TEL:048-422-9991 ※問い合わせ・受付時間 10:00~16:30

※詳しくは彩湖自然学習センターホームページ

(<http://www.city.toda.saitama.jp/site/saiko/>)をご覧ください。